

事業所名

放課後等デイサービス とらいあんぐる

支援プログラム

作成日

R7

年

2月

25日

法人（事業所）理念		・私たちは、地域社会が人間性溢れる潤いのあるものとなるよう、福祉サービスの充実と発展を目指します。 ・この基本精神のもと 私たちは、個人の尊厳の保持に十分配慮しながら、福祉サービスの実践に努めます。 ・特性と向き合いながら、お子さんの自己成長力を引き出せる環境や療育の専門性に基づいたサポートに努めます。					
支援方針		・集団活動と個別支援とのバランスを考えながら、コミュニケーションスキル（SST）や日常生活スキルの向上（LST）、運動と感覚統合、学習支援、自己表現と創造性の育成、社会参加と地域交流を促進し、保護者や様々な関係機関等との連携を通じて成長を総合的にサポートします。					
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	ありなし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・身だしなみや排泄、マナー等、生活上のスキルを習慣化できるよう自立心を目的にサポートします。 ・ご家族や学校からの体調確認も継続し利用時の体温測定含む健康チェックを図り規則正しい生活を促します。 ・防災、防犯、火災訓練を通じて、日常の安全意識を高められるように定期的に学びます。 ・感情コントロールに向けスケジュールにて見通しを図り、伝達手段やソーシャルスキルトレーニング（SST）などから情緒への支援行います。					
	運動・感覚	・専門職支援から学んだ知識をもとに、運動などを活動に取り入れながら体の使い方や体力づくりや手眼協調意識出来るよう体を動かします。 ・縄跳びやバランスボール等触覚を刺激する運動で、バランス感覚と空間認識を学びます。 ・施設内や公園での遊び、サーキット活動を通じて体力向上を図ります。 ・音楽に合わせたダンスなどから、リズム感と協調性を育みながら楽しく体を動かします。 ・公園や散歩などの屋外活動を通じて、季節を感じ自然との触れ合いを楽しめるようなプログラム作成に努めます。					
	認知・行動	・個別課題や宿題のサポートで、学習に臨む気持ちづくりに向けた学習スキルへの定着を図ります。 ・ルールについての理解や望ましい行動を促し、安心できる環境を提供します。 ・感情の認識とコントロールを高められるようプログラムや役割を通じて、コミュニケーション方法や協力を学びます。 ・スモールステップで達成感や成功体験から自信に繋がられ、モチベーション向上を図れるよう支援方法を考慮します。					
	言語 コミュニケーション	・絵カードや発音練習などから正しい言葉の使い方を学び、語彙力向上や日常会話スキルの育成を図り成長に応じたコミュニケーションスキルを習得します。 ・ジェスチャーや表情、アイコンタクトの練習を通じて、言葉以外の非言語コミュニケーション方法を学び適応力を習得します。					
	人間関係 社会性	・挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習し習得します。 ・制作活動やグループゲームを通じて友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 ・絵本や感情カードを使って共感の練習を行い、気持ちを理解する力を育みます。					
家族支援		・家庭や学校での様子を共有し療育活動での支援に活かします。 ・定期的な面談（6か月に1回以上）と送迎の場面を通じて、お子さんの成長や課題について保護者と話し合いサポートします。 ・共通認識をもって、家庭でも継続的に支援できるようサポートします。			移行支援		・お金の使い方や家事スキル向上に向けての活動機会を設定し基本的なスキルを育てます。 ・自分の強みや弱みを理解し意思決定が出来る支援を行います。 ・学校や他事業所等の関係機関との連携を密にし、継続的なサポートが確保できるよう環境を整えます。
地域支援・地域連携		・図書館や遊具施設など地域資源を活用します。 ・学校、福祉サービスと連携し包括的な支援体制を整えます。 ・防災訓練や緊急時連絡対策を強化し災害時の対応力やお子様とご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めます。			職員の質の向上		・専門研修を通じて知識と実践的なスキルや専門性を学びます。 ・定期的なレクリエーション活動を通じて、職員間のコミュニケーションを深めます。

主な行事等	・避難訓練（地震・火災・防犯等：年2～3回程度）・研修会への参加（年数回）・各種体験（野菜収穫・各種施設見学や社会体験・調理体験）・季節行事実施（節分・ひな祭り・クリスマス会・お誕生日会等）
-------	---